

## 会長ご挨拶

平成28年度の総会で会長に再選され、引き続き社会の動きも踏まえ、皆様方のご意見に従い学会の運営を推進まいりますので、宜しくお願い申し上げます。

当学会は12年前の平成16年4月、我々の生活の原点である地域社会のマネジメントについて、次のような新たな学問体系の構築と実践を目指し、大学等の研究者、行政や司法の関係者、事業者や地域産業等の実務的な活動者、有識者等の幅広い期待を担って、四ツ谷の主婦会館での創立総会において設立されました。



- ① 都市・地域・地区(以下「地域」という。)を形成するハードとソフトの資産体系の適切な経営管理に関し、国際的な視野のもと幅広い学問的、科学的、実務的な調査研究を行う
- ② これらの分野に携わる大学などの研究者、企業・行政関係者、有識者、有資格者等による研究成果の発表と相互交流を行う
- ③ ストック時代における地域資産の適正かつ有効な利活用を図り、防災防犯、情報システム、環境、福祉、伝統文化の承継等の諸問題についての課題を整理する
- ④ 地域資産に係る関係の有資格者等の資質の向上と育成に寄与する
- ⑤ 地域の経営管理に係る総合的な学問体系の確立、発展を期する

そして、その実践のため毎年、学術論文の発表、講演やシンポジウム、学術学会誌の発行、関連地域や施設の見学会等を総合的に実施し、昨年来、講演等のテーマでも「人口減少都市からの脱却豊島区の挑戦」「空き家と地域マネジメント」「地球温暖化と東京への影響」などその時々々の社会問題に取り組み、また情報編集面でもISSN対応の「創立十周年記念論文集」「地域マネジメント研究」の発行に取り組み、HPの内容も大幅に拡充しました。

現下の我が国の社会経済情勢は、成熟社会、人口減少社会、少子高齢化社会、財政健全化目標、産業や観光等のグローバル化への対応、異常気象の発生、世界での紛争の拡大等の大きな流れの中で、ヒト・モノ・カネ・ジョウホウが世界を動き回るIT社会、情報化社会にも対応できる体制や人材を育成し、地域マネジメントの分野でも具体的な実践と相互連携を強化することが重要です。政府でも26年には「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、地域が主体となったまちづくりとそのための若者、女性、部外者を含む人材の養成と発掘、そのベースとなる交流や情報交換の場づくりに鋭意取り組み「一億総活躍社会」を推進しています。

当学会の今後の運営につきましても、大学、企業や団体、街づくりやマンション管理等の関係有資格者、官公庁、各地域での商店街やPTAや団地住民等がそれぞれ立ち上がり、協働し、住みよく、健康増進が期待でき、自然と共存でき、多様な文化にも触れ、多世代の老若男女が助け合い子供や学生の教育支援をも実行する「絆・きずな社会」の構築をめざす地域マネジメントの推進が重要だと考えます。その際、都市再生、ストックの適正保全とその有効な活用や流通の推進の工夫を含め、街づくりの具体的事例や制度の研究や情報分析や提言、また実践活動の支援に力を入れ、特に各委員会の活動の強化と若い研究者や事業者の協力を拡充したいと思います。

「子どもは未来と国の宝・学生さんは街の宝・働く世代は社会の宝・高齢者は地域の宝」の気持ちで、実践的で、深い研究と広い視野や柔軟な発想、怯まない気概を持つ地域づくりリーダーの広範な出現の推進を支援し、女性や高齢者の方々の生き甲斐づくりにも努力し、「自立と連帯」の社会の構築に貢献したいと考えます。

平成28年6月  
地域マネジメント学会会長

黒川 弘

((公益財団法人)自転車駐車場整備センター特別参与、  
元三重県副知事・建設省都市局長)

